

1 学校教育目標

地域とつながり、豊かな心と言葉で 自ら学ぶ児童の育成

知 資質・能力の育成

基礎学力の定着向上 市一斉学力調査結果の活用（改善へ）

ことば探究科を全言語活動の基礎に 積極的な作品応募

徳 自らを律し他者とのより良い協働

特別活動・道徳授業の改善充実 学習集団づくり

地域との協働活動 基本的な生活習慣の確立（挨拶 掃除）

体 心身両面のたくましさ

基本的な生活習慣の確立（運動 生活時間） 体育的行事の充実

新体力テスト結果の活用（改善へ） 強化種目の選択

府南学園目標

世界・地域に目を向け、未来に向けて力強く挑戦し続ける児童生徒の育成

2 経営理念

みんなが幸せになる学校

- 行きたい 行かせたい つながりたい 勤めたい と思える学校に -

<めざす学校像>

家庭・地域から信頼される学校
成果を上げる学校

<めざす子ども像>

自ら学ぶ子
心のあたたかい子
元気な子

<めざす教師像>

絶えず成長しようとする教職員
児童を認め励ましほめる教職員

<めざす授業>

子供たちが学びの主体である
個に応じた深い学びのある授業

3 研究主題

(1) 学園研究主題

小中9年間を見通した資質・能力の育成
～ 主体的な学びの充実を通して ～

(2) 本校研究主題

自ら学びに向かう児童の育成
～ 振り返りによる学びの自覚化を通して ～

4 今年度の重点目標及び設定理由

重点目標	設定理由
基礎学力の定着向上	・これまで One Up Time やラーニングサポート事業との連携、授業改善等を通して児童の基礎学力の定着に取り組み、徐々に成果が上がり始めている段階である。今年度も継続して基礎学力の定着向上に努める。
自ら学びに向かう力の育成	・本校の児童は、教師の発問や指示によってフレームを活用することができるが、児童が自ら意識して活用することに課題がある。したがって、複数回の振り返りを行い、その比較分析等を行うことで、学びの言語化を行い学習への手応えを自覚することで、児童の自ら学びに向かう力の育成に取り組む。
自己肯定感の向上	・自己肯定感の向上に向け、家庭や学校、地域、また多様な方面との協働を行い、その中で達成感や自己肯定感が高まるような取組みを仕組む。具体的には、地域との合同行事や作品応募等である。
基礎体力の向上	・起床・就寝時刻や外遊びの習慣化等の基本的な生活習慣を整えることで、心身両面のたくましさを育成する。

5 評価基準

目標値を達成した（98%以上）	=4
目標値をほぼ達成した（80～97%）	=3
目標値を少し達成できなかった（60～79%）	=2
目標値を達成できなかった（60%未満）	=1